



AI Training+

AIトレーニング型教材作成機能

語学教育に求められる4技能「聞く、話す、読む、書く」— AIの活用により、この全てをトレーニングする教材を作成します。

AIの活用により、状況判断・内容把握をともなう対話型（リスニング&スピーキング）トレーニングを実現する教材を、簡単に作成することができます。

ネイティブと遜色ない発音で例文を読み上げる機能や、生徒の回答（スピーキング・ライティング）を「意味・文法」の2つの評価軸で採点する機能など、出題者の思惑通りに、実践的な教材を簡単な操作で作成することができます。

AIトレーニング型の特長

POINT 1



AI活用により、ネイティブと遜色ない発音を出題に組み込む事ができる。

POINT 2



スピーキング・ライティングに対してAIが次のトレーニングを促すように対応。

POINT 3



出題に応じて、「意味・文法」の2つの評価軸でAIが回答の適切さを判断。

POINT 4



LCMS(※)機能により、素材を自由に組み合わせ、独自の語学教材が作成できるKnowledgeDeliverのコンテンツとして組み合わせることができる。

※ LCMS 受講者機能と管理機能に加え、教材作成機能を追加したシステムをLCMS(Learning Content Management System)と呼びます。

AIトレーニング型が教育現場の課題を解決

時間がかかり、取り組みづらい「英作文添削」をもっと効率的に取り組む方法はないかな？

スピーキングの指導ではシャドーイングだけでなく、会話力をもっと身につけられる授業を実践したい。

授業に即した課題をもっと作成できれば、生徒の文章力もさらに伸ばせそう。

会話力や文章力を伸ばすために生徒一人ひとりに対してトレーニングもしてあげたい。



- ネイティブスピーカーとの会話と遜色ないトレーニングを実現します。
- eラーニング教材として組み込めるため、受講者のペースで、時間と場所の制約なく、好きなだけ繰り返しトレーニングができます。
- ネイティブレベルのリアルな発音を使って教材作成が可能。
教育目的に応じて、会話やスピーチなど、学習者がトレーニングしやすい教材を手軽に作成できます。

充実のオーサリング機能

語学教育素材をドラッグ＆ドロップの簡単操作により自由に組み合わせて教材作成ができます。

画像BOXの挿入



読上げの挿入



テキストBOXの挿入



Watson 翻訳



解答欄の挿入



Google 翻訳



手書き読取りの挿入



類似度判定の追加



音声読取りの挿入



文法チェックの追加



※ 本製品は特許出願中の独自技術を用いています。(特願：2017-187409)

ご利用例

学校や塾などの英語の授業で 4技能対策を実施したい

小学校

中学校

高等学校

教育現場で求められる「聞く」「話す」「読む」「書く」の英語4技能教育。AI Training+では特に先生の負荷が大きいとされる「話す（会話する）」「書く（文章でやり取りする）」に重点を置き、生徒一人ひとりに対して英語トレーニングを実現。

ネイティブと遜色ない発音で例文を読み上げる機能や、生徒の回答を「意味と文法」の二つの観点で応答する機能により、英会話や英文でのやり取りを強化。先生のアシスタントとして生徒のコミュニケーションの相手になります。



接客英語や日常英会話を身に付けて インバウンド需要に応えたい

店舗スタッフ

施設スタッフ

年々増え続ける外国人観光客（インバウンド）——ショップやカフェ・レストランなどの様々な店舗や施設のスタッフに外国語、特に英会話の教育・研修が急務となっています。

AI Training+は「話す（会話する）」「書く（文章でやり取りする）」に重点を置き、どの程度意味が通じるか、文法が正しいかをチェックをしながら、英会話や英文でのやり取りを繰り返してトレーニング。「英語に慣れる」ことで現場で話せる・実際に使える英語スキルの上達を目指します。



お問い合わせ



日本初のeラーニング専門ソリューションベンダー
株式会社 デジタル・ナレッジ
www.digital-knowledge.co.jp

導入のご相談、製品についてのお問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

☎ 050-3628-9240

Webフォームでの
お問い合わせ

